

にほんまつ

# 市議会だより

第53号

12月定例会

平成31年2月1日発行

発行：二本松市議会

編集：議会だより編集委員会



写真提供：のびのび保育園

議会報告会開催結果 … P.2～3  
定例会概要 …… P.4～5  
一般質問・討論 …… P.9～15

# 議会報告会を開催しました

第2回目となる議会報告会を、昨年11月19日から22日にかけて市内6会場で開催し、153人の方に出席いただきました。  
今回は、主に9月定例会の審議内容を議員から説明した後、参加された皆さんとの意見交換を行いました。  
それぞれの会場で皆さんからお寄せいただいた主な意見をご紹介します。

## 定住促進

・二本松市は「住みよさ番付け」で見ると、住みよさとは言えない。特に若者の定着が難しい。子どもが大きくなっても同じ敷地内に家が建てられるように、分譲区画は200坪ぐらいあると良いと思う。そうすれば、二代目、三代目と続き、介護や空き家問題にも対応できるのでは。ここで生まれ育った子ども全員が残るように、関東圏から地方へ誘導する支援政策を考えてもらいたい。

## 再生可能エネルギー

・再生可能エネルギーに関して、太陽光発電・パネル設置でトラブルにならないよう、条例等を整備して先に手をうつていただきたい。

## 防災対策

・防災無線で事故・事件等を放送する際に、旧3町の地域

## 子育て支援

であつても、全て「二本松市……(何々)」と放送されるため、旧二本松市の人は何処なのか分からない。二本松市の後に地域名(安達地域・岩代地域・東和地域)を入れて放送して欲しい。

## 農業振興

・油井地区の学童保育所について、学年ごとで場所が分かれており、仕事を終えてから違う場所にお迎えの時間までを迎えに行くのがとても大変である。何とか1か所に集約できないか。

## 観光振興

・「二本松市」のローマ字表記について統一すべきではないか。(二本松駅と市で使っている表記が異なっている。

## 道路整備

インバウンドで来る外国人にも分かりやすいようにした方がいいのでは。  
・菊人形について、お金を落とすためだけに売店を増加してはどうか。また、入場券に、例えば道の駅の割引券を付けたらどうか、無料入場券を市外に配るとか入場者を増やすためのプラスアルファのアイデアを考えるべき。

・積雪時対応として、塩カルの配布を早めて欲しい。また、地域で協力している住民に何らかの恩恵があっても良いのではないか。

・県道に塩カルを撒く機械が気温設定となっていて、雪も降っていないのに低温になると撒かれてしまうので、実情に合ったものにシステムを見直すか、地域のボランティアに任せたい方がよいのではないか。  
・カントリーパークとうわの

※担当議員の◎は班長、○は副班長

### ■二本松地域(岳下・杉田地区)

開催日時 11月21日(水) 午後6時30分  
場 所 岳下住民センター 2階 研修展示室  
参加人数 45名  
担当議員 ◎熊田義春 ○佐藤運喜 堀籠新一  
鈴木一弘 斎藤広二



岳下住民センター 研修展示室

### ■安達地域

開催日時 11月20日(火) 午後6時30分  
場 所 安達公民館 1階 集会室  
参加人数 11名  
担当議員 ◎本多俊昭 ○平塚與志一 佐久間好夫  
平 敏子 平栗征雄



安達公民館 集会室

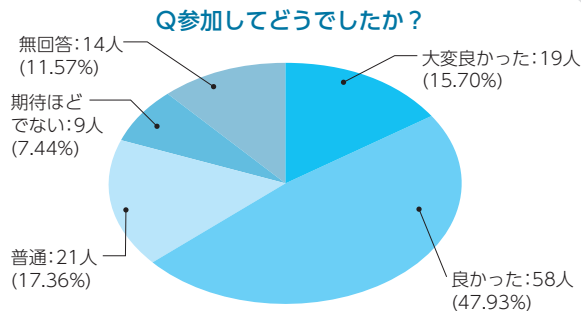
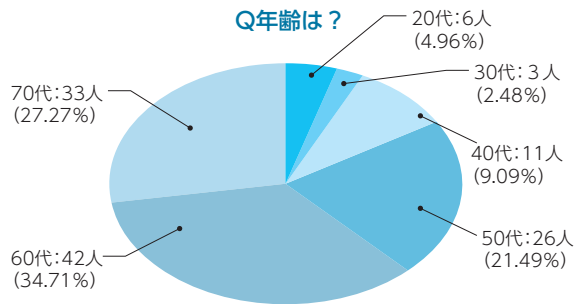
### ■二本松地域(二本松・塩沢地区)

開催日時 11月19日(月) 午後6時30分  
場 所 二本松住民センター 3階 第3会議室  
参加人数 14名  
担当議員 ◎熊田義春 ○佐藤運喜 堀籠新一  
鈴木一弘 斎藤広二



二本松住民センター 第3会議室

## 参加者アンケート



※参加者153人中、121人の方から回答をいただきました。(回答率79.08%)

### アンケートから参加者の声

今回の開催に活かしていきます！

- ・初めて参加させていただきましたが、色々な活動内容が分かって良かったです。
- ・色々な意見を聞くことができ、良かった。色々な意見・要望に対する迅速な対応を願う。
- ・意見交換の時間を多く割いたのは良かった。
- ・市民と議員の意見交換ができ有意義であった。
- ・説明が丁寧で分かりやすかった。ただ説明が定例会の概要のみだったので、中でも特に市民へ紹介したい議案をピックアップして具体的に説明していただくと更によかった。
- ・年1回ではなく、最低2回くらいして欲しい。
- ・ざっくりばらんな雰囲気、親しみのもてる報告会にして欲しい。
- ・時間帯や曜日の選択を改善し参加しやすくして欲しい。
- ・杉田住民センターでも開催して欲しい。
- ・チラシや宣伝不足である。・参加者が少ない。
- ・なるべく数多く開催して欲しい。・報告会を続けて欲しい。
- ・人口減少をいかにして止めるのか、頑張してほしい。
- ・意見交換で出た意見・要望事項に対し、議会としてどのように対応したのか報告をお願いしたい。

### 今回の意見、提言はどうなる？

- ①議会に対応するものと市で対応するものを精査します。
  - ②市（執行機関）に伝えるべきものは、まとめて市長へ提出します。
- その結果はいつか公表するの？  
次号（5月1日発行）の市議会だよりで、どのように対応したのか、その結果をお知らせする予定です。

#### 公園整備

・観音丘陵遊歩道について、伐採等整備をしているようだ

・石井地区（錦町、鈴石地区等）の上水道事業は、未だ施行される状況にないが、どのようになっているのか。

#### 水道整備

周辺では小中学生の送迎の車が多いが、道路の幅員が狭いため今までに何度か事故も起きている。道路の拡幅が難しいのであれば、側溝にグレーチングをかけたリ、蓋をする等の工夫をして欲しい。

#### 文化・体育振興

・文化センターの駐車場がまだまだ狭いと思う。  
・杉田駅の東側に一万人以上入るサッカースタジアムを建設して欲しい。スタジアムには住民センターや倉庫を併設してはどうか。

が、もっと日当たりが良くなるようにきちんと伐採したほうが良いと思う。また、自転車道は舗装になっていて、歩道は砂利をただ撒いただけという感じで滑って歩きにくい。歩きやすくして、見通しがいいようにしてほしい。

#### 議会運営

・議会報告会は年1回ではなく、定例会終了の都度年4回行ってはどうか。

・ネーミングライツ（命名権）の対象施設の利用拡大を検討しては。（コンサートホール、カントリーパークとうわなど）

#### 行財政運営

・放射能モニタリングポストについて、撤去されているようだが減らさないで欲しい。

#### 震災復興

### ■東和地域

開催日時 11月22日(木) 午後6時30分  
場 所 東和文化センター 2階 研修室  
参加人数 23名  
担当議員 ◎小野利美 ○石井 馨 坂本和広  
小林 均 野地久夫 本多勝実



東和文化センター 研修室

### ■二本松地域(石井・大平地区)

開催日時 11月22日(木) 午後6時30分  
場 所 石井住民センター 2階 会議室  
参加人数 25名  
担当議員 ◎本多俊昭 ○平塚與志一 佐久間好夫  
平 敏子 平栗征雄



石井住民センター 会議室

### ■岩代地域

開催日時 11月21日(水) 午後6時30分  
場 所 岩代公民館 2階 大会議室  
参加人数 35名  
担当議員 ◎安齋政保 ○加藤建也 斎藤 徹  
佐藤 有 菅野 明 佐藤源市



岩代公民館 大会議室

市長提出議案は23議案

## 二本松市カントリーパークとうわ条例の一部改正などを審議・可決

### ■カントリーパークとうわのテニスコート夜間照明を設置

カントリーパークとうわのテニスコートは、平成31年4月1日より夜間照明が使用できるようになりました。

市民の皆様の利便性を向上させるもので、施設の内容と利用料金を定めるための改正です。



カントリーパークとうわテニスコート

### ■巡回福祉車両（ようたすカー）の使用料無料化に向けた改正

平成31年4月1日からの高齢者（75歳以上）の公共交通運賃無料化事業の実施に伴い、巡回福祉車両の使用料を減額または免除できるように改めるものです。

議案第137号 平成30年度一般会計補正予算等

## 長命工業団地造成工事に伴う工事費の増額補正予算を可決

平成31年度末完成を目指し順調に工事を進めるために必要とされる事業費を確保するため、3億3,137万円を支出するものとして可決しました。

### その他補正予算の主なもの

- 台風被害の農業用施設の災害復旧修繕費 700万円
- 有害鳥獣捕獲活動報償費 1,380万円
- 多子世帯保育料軽減補助金の増額 91万円



長命工業団地造成予定地

## ■ 二本松市教育委員会委員任命の同意

関 奈央子さん（戸沢・再任）

○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第125号	福島県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決
第126号	二本松市部設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第127号	二本松市振興計画審議会条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
第128号	二本松市が経営する企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第129号	二本松市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第130号	二本松市地域子育て支援センター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第131号	二本松市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第132号	二本松市巡回福祉車両運行事業条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第133号	二本松市カントリーパークとうわ条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第134号	二本松市道の駅ふくしま東和及び二本松市東和活性化センターの指定管理者の指定について	原案可決
第135号	二本松市名目津温泉の指定管理者の指定について	原案可決
第136号	二本松市市民交流センターの指定管理者の指定について	原案可決
第137号	平成30年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第138号	平成30年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第139号	平成30年度二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決
第140号	平成30年度二本松市工業団地造成事業会計補正予算	原案可決
第141号	平成30年度二本松市水道事業会計補正予算	原案可決
第142号	平成30年度二本松市下水道事業会計補正予算	原案可決
第143号	二本松市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第144号	二本松市常勤の特別職の給与の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第145号	二本松市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第146号	二本松市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第147号	二本松市教育委員会委員任命の同意について	原案同意

○委員会提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第6号	国民健康保険税引き下げのため国庫負担の増額を求める意見書の提出について	原案可決

○請願とその審議結果

受理番号	件名	結果
第8号	国に対し「学校給食の無料化を求める意見書」提出についての請願	不採択
第9号	県に対し「学校給食の無料化を求める意見書」提出についての請願	不採択
第10号	国庫負担の増額で高すぎる国民健康保険税の引き下げを求める請願	採 択

12月定例会審査報告

二本松市部設置条例の一部を改正する条例、一般会計補正予算等について

**問** 機構改革により、現在の事務分掌や配置の変更はあるのか。

**答** 健康増進課を市民部から保健福祉部へ変更すること、上下水道部を課にして建設部に置くこと等の変更を行うが、各課等の事務分掌に大きな変更はなく、また、庁舎における配置の変更は必要最小限に抑える予定である。

**問** 道の駅ふくしま東和及び東和活性化センターの今回の指定管理者については、何回目の指定となるか。また、指定管理者の選定における応募者へのヒアリングはどのような内容で行ったのか。

**答** 平成18年度から指定管理者による管理としてきており、今回4回目の指定となる。また、ヒアリングは、施設使用や地域振興に関する事業計画、運営予算等の内容について行った。

**問** 国民健康保険基盤安定繰出金が増額になった理由は何か。

**答** 国民健康保険税の軽減世帯が69世帯増加したためである。主に未申告であった世帯が申告したことによると思われる。

**問** 総合検診業務委託の債務負担行為<sup>\*</sup>について、総合検診の実施方法を平成31年度から変更する

狙いは何か。また、周知のスケジュールはどのようになっているか。

**答** 施設検診の早期受診、集団・施設両検診の受診録統一による変更事務手続きの軽減、個別郵送による区長等の負担軽減、事務コストの削減等のメリットがある。2月に全戸配布のチラシを配布し、広報にほんまつの3月号でも周知する。

**討議** 総合検診事業については、市民の健康に関わる重要な事業であるため、変更点について周知を図り、漏れの無いように進めるべきである。

※債務負担行為

予算の会計年度独立の原則に対する例外措置で、翌年度以降の経費の支出義務がある契約等について、その限度額・期間を議会の議決を経て定めること



机上審査の様子

行政視察報告 11月12日～14日

＜愛知県一宮市＞

「市民が選ぶ市民活動支援制度」では、活動団体が行う事業を市民が選んで投票し、その結果に応じて団体へ支援金が交付されます。投票率の低さなどの課題もありましたが、事業内容の公表や市民参加の手法について、一つの事例として、市民との協働のまちづくりに参考となるものでした。

＜静岡県浜松市＞

太陽光発電を主とした再生可能エネルギーや自家発電等の分散型電源によるエネルギーの自給率向上と地産地消に取り組んでいます。また、企業等との連携、共同出資による地域新電力会社の設立及び運営について先進事例として視察しました。

＜静岡県富士市＞

地震、風水害、火山等あらゆる自然災害を想定し防災対策を推進しています。災害時の市の業務継続計画や市民による自主防災組織の活動、情報伝達設備の整備、災害時のトイレ不足対策であるトイレトレーラーの導入など先進的な取り組みは参考とすべきと感じました。

＜埼玉県所沢市＞

エコタウン構想において、特にスマートエネルギープロジェクトを推進し、市の資産を活用した太陽光発電やバイオマス発電並びに市民への補助等により再生可能エネルギーの導入に取り組んでいます。また、浜松市同様、市の出資した地域新電力会社の先進事例を視察しました。



視察の様子（富士市・トイレトレーラー）

## 12月定例会審査報告

## 一般会計補正予算、工業団地造成事業会計補正予算等について

**問** 有害鳥獣捕獲活動事業について、今年度に捕獲されたイノシシは何頭か。また、今後の見込みは何頭か。

**答** 市の事業で捕獲された頭数は750頭である。また、県の事業で捕獲された頭数は598頭であり、合わせて1,348頭となっている。今年度の見込み頭数は、市の事業で1,100頭であり、残り4ヶ月で約350頭の捕獲を見込んでいる。

**問** 長命工業団地について、工場用地合計面積及び造成事業費総額はどれくらいか。

**答** 工場用地は81,420㎡であり、開発区域面積の約84%となっている。また、造成事業費の総額は、現時点では約12億3,100万円の予定である。

**問** 長命工業団地に整備予定の駐車場及び公園について、何台の駐車が可能か。また今後の利用計画はどうなっているか。

**答** 駐車台数は25台を計画している。公園の利用計画については、地元市民や工業団地の方々等の意見を聞きながら、今後検討していきたい。



現地調査の様子(長命工業団地造成予定地)

## 行政視察報告 11月13日～15日

## 《佐賀県唐津市》

市町村合併後、旧市町で異なっていた水道料金の基準額を5年で統一。また、老朽管や設備の更新のため財源不足が見込まれることから、今年度6月分から約2.2%値上げの料金改定を行っています。当市においても、水道料金の統一は避けて通れない課題であり、市民に対してわかりやすい説明を行いながら、統一へ向けての協議や検討が必要であると感じました。

## 《佐賀県佐賀市》

地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史的価値の高い建造物とが一体となった歴史的風致が形成され、維持及び向上が図られています。また、歴史的古民家をあえて文化財指定せずリノベーションし、民間のテナントの誘致を行い、賑わいの創出を図っています。当市も古い土蔵などが多く残っており、その雰囲気を残したまま、現代にマッチした店舗への展開や、市民主体の歴史的まちづくりなど、新たな方向性を見いだせると感じました。

## 《福岡県久留米市》

商業地域である中心市街地の求心力の低下の起爆剤として、平成28年に「久留米シティプラザ」が開館となり、その集客効果を活かした商店街の活性化が図られております。当市においても、中心市街地の活性化は大きな課題であり、今後の施設整備や商店街の再生に大変参考になるものでした。



視察の様子(久留米市・久留米シティプラザ)

12月定例会審査報告

一般会計補正予算等について

**問** 現在あだち保育園内にある地域子育て支援センターが廃止されることで、空きスペースができるが、この跡地利用については、どのように考えているか。

**答** 面積が約50平方メートルほどの部屋であるが、保育士の確保状況を見ながら、待機児童対策の観点から保育室として活用したいと考えている。

**問** カントリーパークとうわのテニスコートの夜間照明の料金は、現存他のテニスコートと同一料金となるのか。

また、利用者の増加による照明設置だと思いが、利用実績は。

**答** 現在、照明設備のある城山庭球場や岩代テニスコートと同じ料金設定としたものである。

また、利用者については、平成28年度は、年間約4,700人程度であったが、平成29年度は、5,700人ほどに増えている。

**問** 地域包括ケアシステムの深化・推進のための講演会の内容は。

**答** 地域包括支援センターや認知症初期集中支援チーム、認知症地域活動推進委員などの活動等に対し、知識を深めていただくもので、基本的には専門職向けの内容であり、認知症の方への支援に繋げていきたいと考えている。



机上審査の様子

行政視察報告 11月13日～15日

＜岐阜県大垣市＞

「子育て日本一を目指した各種施策」では、家庭の家事・育児を援助する「エンゼルサポーター」派遣、親子での路線バス利用無料化、ひとり親家庭の学習支援などが行われています。

「奥の細道むすびの地記念館」では、地元小学6年生を招待し、市先人の学習、俳句体験などを通じ、郷土理解を深めています。館内に飲食店は無く、土産店も市内回遊を促すため、必要最低限のみとされ、今後の施設整備モデルの一つです。

＜岐阜県岐阜市＞

「子ども・若者総合支援センター“エールぎふ”」では、0歳～成人前のあらゆる子ども・若者に寄り添い、発達段階に応じた継続的な支援を行うため、心理士や保健師などの資格職員を雇用し、カウンセラーや児童精神科医などの専門アドバイザーを配置し、ワンストップで充実した対応が行われています。

＜愛知県大府市＞

「認知症対策事業」では、国立長寿医療研究センターと共同で認知症予防プログラムを作成し、まち全体で認知症予防に向けたスキーム作りを行うと

もに、高齢者が自身の活動を記録し、具体的な予防につなげるための「コグニノート」を活用しています。

＜静岡県浜松市＞

「浜松中部学園」は、学年を緩やかな4-2-3制で編成する施設一体型の小中一貫校で、広い年代が集まることで児童生徒の成長が促され、教員も小・中学校互いの専門性を持ち寄ることで、指導観、こども観等が変わり、大きな刺激となっているとのことでした。



視察の様子（浜松市・浜松中部学園）



## 一般質問

# 市の明日を考える!

12月定例会の一般質問は、12月10日から13日までの4日間にわたって行われ、18人の議員により、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで読み取っていただきますと、録画中継をご覧いただけます。

[発言順]



齋藤 徹

[市政刷新会議]

### 市内公共施設の電力需給入札の考えは

### 水道事業民営化の考え方は

**問** (仮称)二本松電力設置に時間を要した場合、市内公共施設の電力需給の一般競争入札を行い、費用削減に努める必要があるのではないかと。

**答** 9月に制限付一般競争入札を実施し、11月から本庁舎並びに各支所の4施設において、新たな電力会社からの電力供給が開始されたところである。他の公共施設においても、順次、競争入札による電力の調達を進めていきたいと考えている。

**問** 今国会で水道法が改正されたが、本市においての水道事業の民営化・一部民営化の考え方を伺う。

**答** 国会では、水道料金の高騰、水質悪化の懸念が論議されていたが、安心して安全な水道水を供給することが水道事業者の第一の使命と考えている。今後全国で事例が積み重ねられる動向を注視していきたいと考える。また、管路更新についての民間連携手法については、今後の研究課題とする。

### 東和地域の市道・林道整備の状況は

### 東和中カヌー一部の指導者の現状は



佐久間 好夫

[真誠会]

**問** 市道白髭一本松線の改良、白髭橋の拡幅及び喜六田地区の改良整備について伺う。

**答** 市道白髭一本松線は、待避所5箇所整備し全線の改良計画ないが、今後も適切な維持管理に努める。白髭橋拡幅は交通状況観察し検討する。喜六田地区の改良は、長い下り坂で危険性があり、更なる道路交通安全確保に努める。

**問** 林道針道柿ノ作線の整備について伺う。

**答** 林道笹ノ田大沢線に接続までは400メートルあり、山間部で高低差もあるので、工法的に難し

いが、引き続き検討する。

**問** 東和中部活動指導者について伺う。

**答** カヌー競技の専門的教職員や専門家の配置も容易ではない状況であるが、今後は県カヌー協会と協力し持続可能な体制整備に努める。

**問** ため池の除染について伺う。

**答** 市全体で実施設計12箇所、詳細調査実施36箇所、県モニター調査箇所を加え50箇所あり、その除染工法は、詳細調査を基に、実施設計においてそれぞれの有効な工法を検討する。

## 再生可能エネルギーの推進は

### 本市の人口減少対策は



**坂本 和広**

[真誠会]

- 問** 太陽光発電等の可能性調査結果について伺う。
- 答** 太陽光発電について市有施設177箇所、民有地70箇所を調査、固定買取制度申請可能とされた箇所は市有施設67箇所、民有地は30箇所である。水力発電は市内2箇所可能性調査中である。
- 問** 0円システム（建物所有者がリース方式で太陽光発電を行うサービス）の検討の可否は。
- 答** 他市の先進的事例について、（仮称）二本松電力において検討されていくものと考えている。

- 問** 人口減少に備えて10年後・20年後・30年後の財政予想計画はあるか。
- 答** 人口減少を踏まえた財政見通しの必要性を認識しており、次期総合計画の中で検討しなければならないと考えている。
- 問** 人口減少を抑えるため、大規模な宅地化を杉田駅近郊にて行うことは可能か。
- 答** サブ拠点として杉田駅周辺地区を位置付けており、民間開発につながる整備についても今後推進していきたいと考えている。



**小林 均**

[公明党]

## 観光グローバル化に伴う本市の観光行政

### 東京2020大会の取組みとパラリンピック教育

- 問** 訪日外国人旅行者への多言語化対応、会計時のインバウンド対応等受入環境整備は。
- 答** 「海外からのお客様へ」のウェブサイト新たに設け、観光モデルコースを見られるよう整備。多言語観光ウェブサイト「FUKUNAKA」に加入、8種の言語による紹介を行う予定。パンフレットは英語、中国語にタイ語、ベトナム語を追加。各商店へは中国・台湾語版の「指差し会話シート」を配布。多言語案内板は、JR駅、道の駅等6箇所に整備。ローマ字表記の統

- 一、支払い時のキャッシュレス決済の導入は、今後の検討課題。
- 問** 子ども達の心に何をレガシーとして残すのか。パラリンピック教育の現状と今後の取組みは。
- 答** 東京2020大会を通し、スポーツに親しむ思い、観戦する楽しさや感動、ボランティア精神の貴さ、スポーツの特性を知る楽しさ等を感じることが子ども達のレガシーに繋がる。今年度、小浜小と特別支援学級の児童生徒でパラリンピック教育を実施、次年度も推進を図る。

## 汚染土壌の仮置場から積み込み場への移送は

### アクティブパークの現状は



**安齋 政保**

[市政会]

- 問** 各地域ごとの計画と進捗状況は。
- 答** 各積み込み場への現在の移送予定袋数は、石井10区積み込み場が20,072袋、やくし積み込み場が14,333袋、東北積み込み場が7,351袋、堀米積み込み場15,423袋、戸沢1区積み込み場が12,592袋であり、環境省における中間貯蔵施設への輸送状況を見ながら、各積み込み場への移送を進めており、石井10区積み込み場へは11月から搬入開始、その他の積み込み場も今月から順次搬入する予定をしている。

- 問** 各種目の施設利用状況は。
- 答** 4月から11月末までの利用者数は、スケートボードは1,669人、クライミングは1,544人、スラックラインは528人、3種目の利用は589人で合計4,330人となっており、その内市外利用者4,138人、市内利用者は192人。観光客については、特に区分はしていないが、岳温泉宿泊者に対して割引の連携を9月より実施しており、その利用者数は11月末までに4人となっている。



## 加藤 建也

[無所属]

**問** 本市は庁内敷地内禁煙実施の考えはあるのか。  
**答** 平成30年7月の健康増進法一部改正に伴い、「望まない受動喫煙をなくす」という目的から、学校、病院、児童福祉施設等、行政機関においては、将来的に「敷地内禁煙」にしなければならないと考えているところである。しかしながら喫煙者が一定程度いるという現状を踏まえ、「屋外喫煙場所」を設置するにあたっての必要な措置について示す予定である。

## 庁内、敷地内禁煙実践の方法と対策は 二本松市の観光の柱は

**問** 二本松市の観光の柱となる中心の名所はどこか、イベントは何か伺う。  
**答** 代表する名所は、「安達太良山」をはじめ「岳温泉」、「霞ヶ城公園」、更には、「智恵子の生家」などがあげられる。イベント関係では、「二本松の菊人形」、350年を超える歴史がある「二本松の提灯祭り」、「針道のあばれ山車」、「木幡の幡まつり」、若連全員が紋付羽織袴の正装をする「小浜の紋付祭り」などが本市を代表するイベントであると捉えている。

## 自然休養村管理センターの再利用の計画は 新たなパークゴルフ場建設は

**問** 城山城址の入口に位置する自然休養村管理センターの運営について市の考えを伺う。  
**答** 市職員により建物外観及び内部設備の現況調査を行った。現在の建物は、躯体などの損傷は少ないものの、各設備関係は老朽化が進んでおり、再利用には耐震診断の必要があり、多額の経費が見込まれる。新たな交流拠点建設を控え、市としては当面、一般に開放する施設としての再整備は難しいものと考えている。  
**問** 長い期間、市民にとり、運動できる場所が制限



## 平栗 征雄

[市政刷新会議]

されてきた。市に2か所の運動施設があっても良いと思うが、パークゴルフ場建設について市の考えを伺う。  
**答** 現在、日山パークゴルフ場があり、多くの愛好者に利用されているが、市中心部より距離があることから、市街地近隣への設置要望もある。誰もが気軽に楽しめ、市民の健康づくり・体力づくりの実現につながるものと考えられることから、新たな整備については、今後検討していきたいと考えている。



## 佐藤 有

[真誠会]

**問** 今年の二本松の菊人形の総括は。  
**答** 「戌辰150年信義と二本松少年隊」をテーマとして、会場の場面や配置を考慮し、洋菊「マムフェスティバル」も同時開催、天候にも恵まれ入場者も昨年より14,147人増えた。  
**問** 全国さくらシンポジウムの全概要は。  
**答** 平成31年4月に市民会館で開催、オープニングセレモニーにオペラ歌手の樋口達哉氏を迎え、芥川賞作家の玄侑宗久氏の講演や、桜を演題としたパネルディスカッションのほか、

## 第64回二本松の菊人形の結果は 2019全国さくらシンポジウム開催は

霞ヶ城公園、智恵子の生家、万燈桜を巡るコースと安達ヶ原ふるさと村、中島の地藏桜、合戦場のしだれ桜を巡るコースに分かれ現地見学会を実施する。現在パンフレット作成中である。



2019 全国さくらシンポジウムのパンフレット

## ふるさと納税の状況と今後の取組みは

### 小中学生のいじめの対応と不登校生の対策は



**小野 利美**

[市政会]

**問** 平成29年度の納税額と件数、税収の活用状況について伺う。

**答** 249件で納税額は1,112万6千円で、地域振興や産業振興、教育施設整備等に幅広く活用している。

**問** 今後のふるさと納税の取組みについて伺う。

**答** 本市の魅力ある素晴らしい地場産品が全国の皆様に周知され、二本松市をPRする絶好の機会であり、地域経済の活性化に繋がるものとして、今後も積極的に納税施策を展開していく。

**問** 最近の小中学生のいじめの件数と対応は。

**答** 9月に実施した「平成30年度二本松市いじめ定期調査」で、小学校43件、中学校で15件の認知件数があったが、教員の適切な指導のもと、当事者間で全て解決されている。

**問** 不登校生の今後の対策は。

**答** 学校と保護者と連携で不登校対策チームを組織し協働体制で対応、また二本松市教育支援センター内で不登校児童生徒の学習支援を行い、不登校の改善を図っている。



**熊田 義春**

[市政会]

## 学童保育の待機児童対策は

### 市長の市政取組みは

**問** 待機児童の進捗状況は。(各地区別人数)

**答** 現在、16箇所の学童保育所を開設し、4月1日現在で668人の希望する児童全員を受け入れており、待機児童はいない。

**問** 待機児童解消に向けた取組み計画はあるのか。

**答** 現在、待機児童はいないが、共働き家庭の増加など、保育需要が増加していくものと考えており、入所定員の拡大を検討している。具体的には、二本松北小学校区と油井小学校区において入所希望者の増加が見込まれてお

り、待機児童を出さないよう、定員拡大のための施設改修等を検討していく。

**問** 将来に向けた市の財政確保対策の考えは。

**答** 限られた財源を有効活用し、最小の経費で最大の効果を得られるよう事業の選択と集中を進め、国、県等の補助金、交付金等活用できるものは、積極的に活用しながら、必要な財源の確保を図っていききたい。

## 医師確保対策事業の進捗状況と今後の考えは



**野地 久夫**

[市政刷新会議]

**問** 医師確保対策事業の進捗状況、予算執行状況等を伺う。

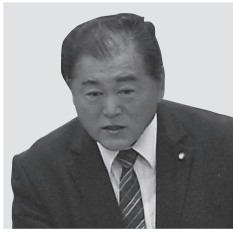
**答** 寄附講座や医師受入の例規を整備後、各大学にPR活動、訪問依頼活動を行った。高速道路使用料等交通費等の予算執行である。

**問** 市答弁では産科再開は大変厳しい状況であると考える。以前、三保市長も産科医師確保対策の成果は出せなかった。前市長も4年間取り組んだが産科の再開は困難と明言した。このような状況の中継続するのか市長に伺う。

**答** 産科医師確保に引き続き努力をする。

**問** 産科の再開に新たに産科医師、その他医師、助産師等は何人必要か伺う。医療機器の調達、入院部屋等の改修等の必要性を伺う。産科診療費不採算の場合の行政補填の考えを伺う。

**答** 産科医師は最低3名、小児科医師1名、麻酔科医師1名、助産師・看護師は最低8名必要になる。医療機器の点検整備等に数百万円、及び不採算診療費の行政補填は考えていない。新たに新生児室が必要で、市でも負担の考えである。



## 鈴木 一弘

[市政刷新会議]

### 本市の人口減少・高齢化は今後どうなる

#### 公共交通の在り方は

**問** 人口減少、高齢化率を勘案した今の行政の在り方について伺う。

**答** 30年後、推計では13,600人程度、人口が減少すると考えられる。本市の人口減少問題は重要な課題と認識しており、民間とも枠を超えて協力し、様々な取り組みを総合的に進めていくとともに、市民が幸せを実感し、生きがいを見出し、将来への希望を抱き続けられるまちづくりと、それを担う持続可能な行政自治体を模索していく。

**問** 公共交通の利用状況と市が考える在り方は。

**答** 市民に必要な交通手段を確保し、市民福祉の向上に資することを目的として、コミュニティバス、デマンド型乗合タクシー、ようたすカー等を運行している。デマンドタクシー、ようたすカーは、現在2,399人が登録して利用している。コミュニティバスは、そのほとんどが通学利用で201,057人程度が利用しており、今後も暮らしやすいまちづくり実現のため持続可能な交通体系を確立していく。

### 高齢者の交通手段確保の改善は

#### 市の財政の収支均衡の目標は



## 石井 馨

[無所属]

**問** 高齢者の交通手段としてデマンドタクシーなどがあるが、中山間地域において乗降場所までの距離縮減に向け、ドアtoドアで利用できる改善の検討を行うべきでは。

**答** できる限り利用者の自宅近くまで迎えにいくようにしているが、車両の大きさから狭隘な通路や旋回場所がないところで不便をかけている。今後、運行業者と相談しながら改善に努める。

**問** 平成30年度の当初予算では財源不足のため、基金から13億円の繰入が行われたが、単年度での収支均衡の目標を持つべきではないか。

**答** 近年、当初予算において財政基金等からの繰入額が年々増加しており、現状では単年度での収支均衡は難しい状況となっている。今後、事務事業の見直しやスクラップアンドビルドを徹底しながら、国の事業を取り入れ財源を確保して行政サービスを維持したい。



## 平 敏子

[日本共産党二本松市議団]

### 本市の職員体制は

#### 10月の消費税引き上げの市内への影響は

**問** 正規職員と非正規職員の人数と割合は。

**答** 12月1日現在、正規職員が511人、非正規職員が362人で、非正規職員の割合は41.5%となっている。

**問** 臨時職員が増加した要因は。

**答** 市民ニーズや行政課題の多様化、震災復興業務等の増に伴い非正規職員が増加した。

**問** 「会計年度任用制度」の内容と本市の対応は。

**答** 現行の臨時・非常勤職員の任用要件が厳格化され、併せて期末手当支給が可能になるなど

統一的な取扱いが定められ、平成32年度施行に向け任用方法及び勤務条件等の見直し、検討作業を進めている。

**問** 10月からの消費税10%引き上げによる、市内商工業・農業への影響は。

**答** 中小規模の商店や企業・事務所が多い本市でも深刻に受け止めている。売上高が1,000万円以下の免税農家の場合、販売価格に消費税を転嫁できないと、種苗代や資材代等の仕入れの消費税の増税分だけ、今までより減収となる。

## 原発事故による市の損害賠償請求は

### 市内仮設住宅撤去後の敷き砂利の再利用を



## 菅野 明

[日本共産党二本松市議団]

**問** 原発事故によるこれまでの市の各会計ごとの請求額と支払額は。

**答** 平成30年11月末現在、一般会計請求総額は19億3,700万円、支払総額は1億2,750万円。簡易水道事業と下水道事業の特別会計請求総額は3,775万円、支払総額は1,973万円。水道事業と下水道事業の企業会計請求総額は5,318万円、支払総額は1,340万円。

**問** 請求額と支払額の差が大きいが東電の見解は。

**答** 当市が請求し未払いの主なものは、事故対応に

要した職員等の人件費と固定資産税減収分。人件費は追加費用の発生時点で東電側と見解の相違があり進んでいない。固定資産税減収分は中間指針で対象外とされ応じないとしている。

**問** 仮設住宅撤去後の敷き砂利を再利用すべき。

**答** 県と協議し、再利用可能な碎石を2箇所をストック。砂利道の補修用碎石として、また一部市発注の工事等で再利用する計画である。余裕があれば行政区等への事業活用も検討したい。



## 本多 俊昭

[無所属]

## 市民に親しまれる市役所づくり・接遇向上を

### 子どもたちの安全対策は

**問** 市職員の接遇向上に向けて具体的な取組みは。

**答** 毎朝のあいさつ運動、打合せ、課内会議や定期的な服務通知、接遇マニュアルの配布により日々接遇向上に努めている。また、市独自の初任者研修、ふくしま自治研修センターにおける初任者研修及び各職層研修においても、接遇研修を受講させ、接遇向上に努めている。

**問** 文部科学省が公表した公立小中学校の適正規模・適正配置の本市の基準や考え方を伺う。

**答** 教育的な観点と地域コミュニティの核としての配慮、これらの両面から見た学校の適正規模・適正配置が必要であると認識している。

**問** 子どもたちの安全対策として、自転車保険の加入率は。

**答** 市内中学校の自転車通学生徒全てを対象に、各学校が安全互助会の保険に加入。この保険は、全ての児童生徒の日常生活における事故等にも適用させるものであるため、各校のPTA予算から支出し100%の加入率である。

## 道路網の今後の整備への取組みは

### 観光交流事業への取組みは



## 佐藤 源市

[市政刷新会議]

**問** 主要地方道県道原町二本松線針道字町地内の交差点改良整備の取組みについて伺う。

**答** 県と市との現地調査、地元近隣の皆様方との危険箇所確認を行い、大型車の交差点通行に支障があり、引き続き県へ強く要望する。

**問** 主要地方道県道原町二本松線戸沢字伏返から川俣町境までの狭隘道路整備について伺う。

**答** 重要主要幹線道路で、また安達地方仮設焼却炉の建設により交通量の増加が予測され、県に対し早期事業化へ向け強く要望する。

**問** 中島の地藏桜周辺における常設トイレの設置及び駐車場整備について伺う。

**答** 年間を通じた誘客の推移を見て設置は慎重に検討する。駐車場整備は周辺の水田等を一時転用し、臨時駐車場として対応したい。

**問** 夜間散策路照明、機材等の整備及び観光案内版の設置について伺う。

**答** 夜間鑑賞に訪れる方の安全性の観点から、誘導灯設置、照明用電線の常設埋設化を図る。看板設置は支援事業を活用していく。



## 齋藤 広二

〔日本共産党二本松市議団〕

### 新たな学童保育施設の建設は

### 市所有施設の新電力への切り替えは

**問** 油井は住宅建設が進み、人口が合併から13年目で678人増えた。新しい学童保育施設建設はできないか。

**答** 油井の人口増加に伴い箇所数を増やし、定員130人に対し127人を、油井小以外の場所で、3箇所4教室を運営している。この他、安達公民館で週1回の「放課後子ども教室」を開設、31人が利用。国は学童保育の80%を学校内での目標としているが、油井小（373人）に余裕教室はない。施設建設は財政負担を伴

うので、今後は施設の拡大について検討している。

**問** 油井地域の0歳～5歳児の人口は。

**答** 0歳55人、1歳75人、2歳75人、3歳67人、4歳69人、5歳63人、合計404人。

**問** 3月議会で新電力への入札を行うとしていたが、その結果と今後の方針について伺う。

**答** 11月の電気代は約20%の58万2千円削減され、本庁舎と3支所合計で235万9千円。今後、他の公共施設も新電力の導入を進める。

## 12月定例会賛否一覽

※これ以外の案件等は全会一致で可決されました。

番号	件名	議決結果	市政刷新会議			真誠会			市政会			日本共産党 二本松市議団			会派に 属さない議員			賛 成	反 対								
			野地 久夫	佐藤 運喜	鈴木 一弘	斎藤 徹	平栗 征雄	佐藤 源市	平塚 與志一	佐久間 好夫	佐藤 和広	堀籠 新一	安齋 政保	小野 利美	熊田 義春	斎藤 広二	菅野 明			平 敏子	石井 馨	加藤 建也	本多 俊昭	小林 均	本多 勝実		
議案第137号	平成30年度二本松市一般会計補正予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	18	3		
議案第143号	二本松市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	3	
議案第144号	二本松市常勤の特別職の給与の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	3	
請願第8号	国に対し「学校給食の無料化を求める意見書」提出についての請願	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3	18	
請願第9号	県に対し「学校給食の無料化を求める意見書」提出についての請願	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3	18

※○は賛成、●は反対。 ※議長（本多勝実）は採決に加わっていません。

### 議案第137号平成30年度二本松市一般会計補正予算及び議案第143号・議案第144号

#### 反対

菅野 明 議員

安倍政権のもとで、家計消費は2人以上世帯の実質消費支出で21万円減り、この根本にはパートを含む労働者全体の実質賃金が18万円減った事実がある。

市内でも法人企業1,267社のうち、赤字決算は689社で54%を占めており、農業は米価が生産費を下回り、米の戸別所得補償の直接支払交付金が無くなり農家に大打撃となっている現状のなか、議員と市3役の期末手当の引き上げについては、市民の理解が得られないので反対する。

## 12月定例会 討 論

討論は、表決の前に議題となっている案件に対し、賛成・反対の意見を表明することをいいます。

### 請願第8号 国に対し「学校給食の無料化を求める意見書」提出についての請願 請願第9号 県に対し「学校給食の無料化を求める意見書」提出についての請願

#### 賛成

平 敏子 議員

県内・全国でも学校給食費の無料化が広がっている。学校給食は「食育」と位置づけられ教育の一環であり、憲法第26条では「義務教育は、これを無償とする」とされており、国や県が無料化の制度をつくり、市町村が取組みを進めやすくすることが求められている。

議会は、住民の代表機関であり、市民の権利としての請願を国・県に届けることが住民の代表としての市議会のあり方である。よって、請願者の願意をくみ賛成する。

#### 反対

野地 久夫 議員

保護者の給食費負担は子供の口に入る食べ物の食材費のみである。それ以外の約7割の給食総経費は公費負担である。生活保護や低所得の世帯は就学援助措置で免除されている。所得に関係なく給食費を無料にすることは、税金や行政の所得の再配分という役割・機能がなくなる。

生活の基本は各自が自立して生活すること。自力で生活できない方を社会で支えることである。二本松市の現状では保護者の所得に応じた負担は必要と考えるため反対する。

## 傍聴者の 声

あだち生涯学級 高野 ヤス子 さん

私達学級の年間計画の中で議会傍聴は人気があり、今回は60名が参加しました。平成27年、平成28年にも実施され、今回も傍聴マナーを守って傍聴できたと思います。

今回は一般質問初日の午前の傍聴でした。議員が予め通告してある質問に市側が答えるというもので、まず1人目の議員が3問、2人目の議員が4問、3人目の議員が3問質問しましたが、スムーズに進行され2時間かからずに終わってしまいました。何か物足りない感じがしました。

私達が選んだ議員さんには、私達の代弁者として努力くださることを期待しています。



12月10日 あだち生涯学級のみなさん

本会議は、当日住所と名前を記入するだけで傍聴できます。市役所6階の議場・傍聴者入口からご案内しています。

皆さまお気軽に傍聴においでください。



市議会だより、または、当市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。

### 市議会だより編集委員会

〒964-8601 二本松市金色403番地1  
TEL 55-5143 (議会事務局) FAX 22-6047  
E-mail gikaisomu@city.nihonmatsu.lg.jp



## 総務大臣感謝状

10月26日、ホテルルポール麹町（東京）で総務大臣感謝状贈呈式が行われ、35年在籍した議員として、斎藤広二議員へ感謝状が贈られました。



斎藤 広二 議員

## 市政功労者表彰

12月3日、市役所で市政功労者表彰式が行われ、12年在籍した議員として、2名の議員が特別功労表彰を受賞されました。



佐藤 有 議員 堀籠 新一 議員

編集委員会  
委員長  
副委員長  
委員

佐藤 運喜  
石井 敏子  
平井 好夫  
佐久間 徹  
斎藤 和  
坂本 廣



新年あけましておめでとうございませう。市民の皆様方には、新春を健やかに迎えられたこと心からお慶び申し上げます。本年は、平成最後の年であり、なおかつ新天皇ご即位の記念すべき年となりました。

12月定例会では18名の議員が一般質問を行い、市当局の考えを質しました。また、議会報告会では市民の皆様方から貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。

今年が亥年です。議会においても猪突猛進、様々な問題に取り組みで参ります。市民の皆様方にとりまして素晴らしい年となるようお祈りいたします。

編集後記